

平成23年度広島県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の概要

平成24年2月6日に平成24年第1回広域連合議会定例会で議決された、平成23年度広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の概要については、次のとおりです。

1 補正した額

歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ17億3,532万5千円を追加し、総額は3,546億860万4千円となりました。

2 補正した内容

(1) 歳入

- ・ 一部補助対象としていた郵送料が見込より減額となったことに伴い、調整交付金を減額（▲1,580万円）
- ・ 平成24年度保険料軽減措置に係る財源として交付される高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金を計上（17億7,458万6千円）
- ・ 東日本大震災被災者に係る後期高齢者医療災害臨時特例補助金を新たに計上（115万5千円）
- ・ 保険料上昇抑制財源を給付準備基金へ組み替えたことに伴う財政安定化基金交付金の減額（△1億994万8千円）
- ・ 給付準備基金元金の増額に伴う基金利子収入の増額（8万5千円）
- ・ 事務費の減額に伴う一般会計繰入金の減額（▲3,770万円）
- ・ 保険料上昇抑制財源の組替え、特別高額医療費共同事業及び保険料還付金の増額分の財源とするため給付準備基金繰入金を増額（1億2,294万7千円）

(2) 歳出

- ・ 消耗品費や郵送料，委託料などの事務費の執行残見込額を減額（▲5，350万円）
- ・ 財政影響を緩和するため，全国の広域連合が財源を負担し合う共同事業の対象となる著しく高額な医療費の増加に伴い，特別高額医療費共同事業拠出金を増額（969万6千円）
- ・ 利子収入が増額したことによる後期高齢者医療給付準備基金積立金の増額（8万5千円）
- ・ 交付される高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金を全額臨時特例基金へ積立（17億7，458万6千円）
- ・ 保険料還付金を増額（445万8千円）